

単元	集めてワクワク！広げてウキウキ！みんなの〇〇プロジェクト（絵本や石けん、マスク、ハーバリウムなどのもの作り） ※石けんの場合		
目標	こだわりをもってものづくりをすることに楽しさを見いだすとともに、ものの価値を多面的に見つめることの大切さについての概念的な理解をし、自己の生き方を見つめ、広げる。		
評価規準	(①知・技) 見た目、使い勝手、込められている思い、ものの歴史といった、自分たちが作ったものの特徴やよさを理解している。 ものやそれに関わる人々の特徴やよさを比較・分類をする思考ツールを使ったり、自他の考えを整理したりして、解決方法に生かしている。 (②思・判・表) もの作りやそれに関わる人々についての課題を設定し、必要な情報を収集したり、繰り返し試行錯誤したりして、解決方法を導き、実践している。 (③主体的態度) もの作りやそれに関わる人々への関心を高め、取組への思いや自信をもち、ものの価値を多様な角度から見直そうとしている。		
過程	時間	学習活動	指導上の留意点
であう	1	○学級目標や過年度の先輩たちの取組やくすの木タイムの手引きを基に、関わる人・もの・ことを選択する視点について話し合う。	○過年度の先輩たちの取組から探究のよさを想像できるように、過年度のくすの木タイムでの具体的な活動とその時の成果が分かる振り返りシートや写真を提示する。
	4	○関わる人・もの・ことの候補を挙げ、選択する方法を話し合ったり、それらについて情報収集したりする。	○石けんやマスク、ハーバリウム等の子どもたちの身近にある手作りできそうなものの中から関わる人・もの・ことを自分なりに選択し、おもしろそうだなという思いをもてるように、実物を用意し、実際に見たり、使ったりする機会を設定する。
	3	○身近にある手づくりできそうなものの作り方について情報収集したことを整理し、関わりたい人・もの・こととその理由を話し合い決める。 学習のめあて 人が使いたくなる石けんを作って渡す石けん工房を開こう	○石けんやマスク、ハーバリウム等の手作りできそうなものの中から関わる人・もの・ことを選択した際のそれぞれの特徴・よさを比較できるように、関わる人・もの・ことを選択する視点と、メリット・デメリットのシートの用意をする。
かかわる	5	○専門家の手作り石けんと身の周りの石けんを見比べたり、使い比べたりした気付きや疑問を話し合い、課題をつかむ。 課題：見た目がよく洗い心地のよい石けんを作るにはどうしたらよいのだろうか。	○使いたくなる石けんを作りたいという思いをもち、これからの活動に見通しをもてるように、試しの体験や専門家から聞いたことを振り返る「意外だったこと」の視点を提示する。
	4	○使いたくなる石けんを作る計画を立て、作りたい物が似ている友達同士で班を作り、作り方を調べる。	○見た目のよさや洗い心地のよい石けんを作れた状態を具体的に想定できるように、石けんの特徴やよさを整理する「評価する人」と「評価してもらう方法」の視点を提示する。
	4	○班で作る石けんの設計図を書き、石けんを作る。	○作る物に合わせて設計図を考えられるように、Webサイトの資料の提示と、専門家や教師の作った石けんの用意をする。
	課外	○できあがった石けんを自分たちで使ってみる。	
	2学期 ↓	4	○できあがった石けんを使ってみた自分たちの感想を基に、班で改善策を話し合う。
	4	○改善策を基に、再度石けんを作る。	○見た目や洗い心地等の特徴やよさを生かせるように、ものづくりの進み具合を記録する視点として「人が使いたくなる」を提示する。
			評価項目＜評価方法（観点）＞ ※太字は「記録に残す評価」 ◇「おもしろそう」「地域のことを知れる」等、過年度の先輩の取組に対する思いを記述したり、発言したりしている。 <学習プリント・発言③> ◇関わりたい人・もの・ことを自分なりに決め、その理由として、「おもしろそう」「地域のことを知れる」等の視点を記述している。 <学習プリント②> ◇「おもしろそう」「地域のことを知れる」等の対象を選択する視点に照らして、対象を決めた根拠を複数記述している。 <学習プリント①②③>
			◇今までに得た、手作り石けんの特徴・よさを基に、これから取り組みたいことを記述している。 <学習プリント②> ◇石けんの特徴やよさを複数、記述したり発言したりしている。 <学習プリント・発言①> ◇作った石けんについて、「見た目がいい」や「洗い心地がいい」等の複数の視点から記述している。 <学習プリント②> ◇作った石けんの改善策の根拠を複数記述している。 <学習プリント①②③> ◇作った石けんについて、「見た目がいい」や「洗い心地がいい」等の複数の視点から記述している。 <学習プリント②>

	課外 ○できあがった石けんを他の班の友達に使ってもらう。		
	4 ○他の班の友達からの感想を基に、班で改善策を話し合う。	○作った石けんについて、前回考えた視点以外の視点からも自分なりに、よさや問題点を見付けられるように、課題を解決した状態の具体図とPMNのシートの用意をする。	◇作った石けんのよさと問題点について、「見た目がいい」や「洗い心地がいい」等の複数の視点から記述している。 ＜学習プリント①②③＞
	4 ○改善策を基に、再度石けんを作る。	○自分たちで考えた視点で石けんを作り直せるように、課題を解決した状態の具体図とPMNのシートを見返す機会を設定する。	◇自分たちが考えた改善策を基に、石けんを作り直している。 ＜作製物①＞
	課外 ○できあがった石けんを校内の児童に使ってもらう。		
	4 ○校内の児童からの感想を基に、今までの活動の成果を振り返る。	○今までの追究の成果を実感できるように、石けんと手を洗ってもらった校内の児童からの感想を聞く機会を設定する。	◇校内の児童からの感想を基に、これまでの追究の成果を記述している。 ＜学習プリント②＞
	3 ○専門家の話や自分たちの石けんへの評価を基に、気づきや疑問を話し合い、課題をつかむ。 課題：地域の方に石けんのよさをもっと知ってもらうには、どうしたらよいだろうか	○石けんの特徴やよさを発信する目的と相手を明確にできるように、専門家から聞いたことを振り返る「意外だったこと」の視点を提示する。	◇今までの学習を基に、地域の方に石けんの特徴やよさを伝えたいという思いを記述している。 ＜学習プリント①②③＞
	4 ○石けんの特徴やよさの発信方法を、図書資料やWebサイトで調べる。	○石けんの特徴やよさの発信方法について自分の考えをもてるように、発信方法に関する図書資料コーナーやWebサイトリストを用意する。	◇石けんの特徴やよさの発信方法を記述している。 ＜学習プリント①＞
	2 ○課題の解決に向けて、石けんの特徴やよさを発信するための学習計画を立てる。	○課題の解決方法の妥当性を把握し、追究への見通しをもてるように、石けんの特徴やよさの発信方法を序列化するピラミッドチャートの枠を用意する。	◇根拠を明確にして、よりよい発信方法について、記述したり発言したりしている。 ＜学習プリント・発言②＞
	2 ○石けんの特徴やよさを広めるための方法として、「石けんアンテナショップ」と「石けん博物館」等の候補を挙げ、話し合って決める。	○発信方法の特徴やよさを整理しながら比較できるように、課題を解決した状態の具体図とマトリクスの用意をする。	◇「石けんの魅力が分かる」の具体図をもとに、発信方法について発言したり、記述したりしている。＜学習プリント・発言②＞
	10 ○資料にまとめる内容を分担して詳しく調べ、「石けんアンテナショップ」を作り、地域の人に石けんを使ってもらう。	○発表内容やそれに適した方法を決められるように、「石けんの特徴」、「石けんの歴史」、「身近な石けんの製品」等の視点や実際のアンテナショップの展示の様子を示した写真を提示する。	◇発表内容に適した絵や図、写真、グラフモデルを用いて発表資料を作っている。 ＜制作物①＞
3学期 ↓	3 ○作ったく石けんと「石けんアンテナショップ」の感想を集計し、成果を話し合う。	○「石けんアンテナショップ」の成果を実感できるように、課題を解決した状態の具体図と感想を集計するシートを用意する。	◇自分たちの石けんや石けんアンテナショップの成果を記述したり発言したりしている。 ＜学習プリント・発言②＞
・まいとかめする	5 ○1年間の取組の成果を基に、実社会へ貢献することと探究的に学ぶことの価値について話し合う。	○ものの価値を多面的に見つめることの大切さについての概念的な理解や自分の生き方の変化を実感できるように、単元始めの人が使いたくなる石けんを作ることと石けんへの印象を記述した学習プリントと掲示物の用意をする。	◇高まった生活を豊かにする物に対する概念的な理解や変化した自己の生き方への思いを記述している。 ＜学習プリント①②③＞